

## JSS 四国 第16回地方会のお知らせ

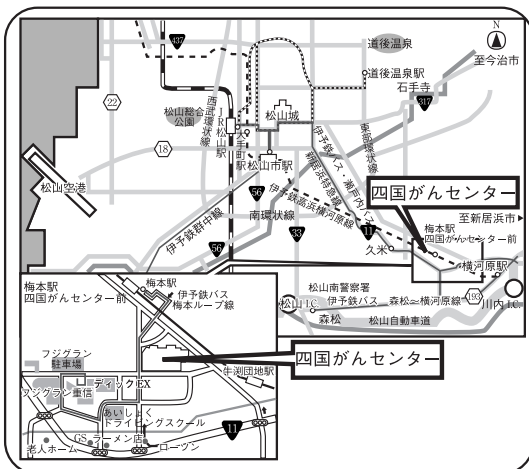
主催 JSS 四国地方会・一般社団法人 日本超音波検査学会  
 実行委員長 宇都宮 大 (済生会西条病院)

装置提供：持田シーメンスメディカルシステム株式会社

JSS 四国第16回地方会を下記のとおり愛媛県松山市で開催いたします。  
 今回のテーマは「チャレンジ！ 体表領域超音波検査 —高周波プローブを使いこなそう—」です。  
 装置の性能の向上に伴い、超音波検査の対象領域は非常に広範囲にわたるようになりました。さまざまな検査領域の中から、今回は特に高周波プローブを使用できる近距離の領域をピックアップして講演を企画しました。  
 少々マニアックな領域も含まれますが、見ておいて、知っていて損はないと感じられることも必ずあるはずで、日常の検査の幅を広げるためにもぜひこの機会に知識や技術を習得していただきたいと思います。  
 多数の皆様にご参加いただけますようご案内申し上げます。

### 記

- テ ー マ：「チャレンジ！ 体表領域超音波検査 —高周波プローブを使いこなそう—」  
 日 時：2012年2月26日（日）10時00分～16時30分  
 会 場：独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 3F 研修室  
 参 加 費：正会員・事前登録：1,000円、正会員・当日受付：1,500円、非会員（事前登録なし）：3,000円  
 事前登録：受付期間（WEBのみ）：2012年1月12日～2月2日・定員：180名  
 ご 注 意：\*変更など最新情報や申込状況はホームページ（<http://www.jss.org/>）でご確認ください。  
 \*事前登録は会員の方のみご利用可能で、非会員の方は利用いただけません。  
 入会手続中の方も会員とは認められませんので、入会のお手続はお早目（1か月程度）をお願いします。  
 \*事前登録で定員に達した場合、未登録の方の当日参加はお受けできません。  
 \*空席がある場合のみ当日参加を受け付けますが、受付開始は事前登録の方を優先します。  
 \*当日は事前登録の有無に関わらず会員証をご持参ください。  
 \*会場内での撮影および録音は禁止とします。  
 \*本会は日本超音波医学会認定の超音波検査士資格更新5単位が取得できます。



独立行政法人国立病院機構  
 四国がんセンター  
 愛媛県松山市南梅本町甲160

- 【バス利用の場合】  
 ・新居浜線（伊予鉄バス・瀬戸内バス）  
 「四国がんセンター」下車  
 【高速バスの場合】  
 ・各高速バス路線「川内インター」で下車、タクシー（要予約）  
 で約10分  
 【電車利用の場合】  
 ・伊予鉄道横河原線「梅本駅」で下車し、徒歩約8分、ループバス  
 で約3分  
 【自動車等で高速道路利用の場合】  
 ・松山自動車道「川内IC」をおり、国道11号線を松山方向へ約10  
 分、右側に見えてきます

連絡先：〒780-0832 高知県高知市九反田2番14号 だいいちリハビリテーション病院 超音波検査室 西森美佐子  
 E-mail: jss-shikoku@mail.jss.org（できるだけEメールでお願いします）。

## JSS 四国 第16回地方会 プログラム

2月26日(日)

9:30~9:55	受 付
9:55~10:00	開会挨拶・オリエンテーション
10:00~11:20	<p><b>第Ⅰ部 講演</b>  <b>「整形外科領域の超音波検査」</b>  <b>講師：石崎 一穂（東京厚生年金病院）</b>  <b>司会：西森美佐子（だいいちリハビリテーション病院超音波検査室）</b></p> <p>近年有用性が高まりつつある整形外科領域の超音波検査について、基本的な解剖学的知識から検査の進め方、スキャンテクニックまで、ハンズオンを交えながらわかりやすく解説していただきます。</p>
11:20~11:30	休 憩
11:30~12:30	<p><b>第Ⅱ部 講演</b>  <b>「軟部腫瘍の超音波検査」</b>  <b>講師：白石 周一（東海大学医学部附属病院）</b>  <b>司会：近藤 吉将（愛媛生協病院）</b></p> <p>軟部腫瘍における超音波検査の役割と質的診断に至るまでの経緯を、病理組織を交えながら解説していただき、知っているに役立つ軟部腫瘍の知識について講演していただきます。</p>
12:30~13:30	昼 食
13:30~14:20	<p><b>第Ⅲ部 講演</b>  <b>「陰嚢内臓器の超音波検査」</b>  <b>講師：宇都宮 大（済生会西条病院）</b>  <b>司会：坂井 祐一（愛媛生協病院）</b></p> <p>陰嚢内臓器の画像診断では超音波検査の有用性が高く、よく第一選択として用いられます。今回は、陰嚢内の解剖から検査の進め方など基本的なことから実際の症例までわかりやすく解説していただきます。</p>
14:20~14:30	休 憩
14:30~15:20	<p><b>第Ⅳ部 一般演題 4~5題（予定）</b>  <b>座長：谷本 泰三（香川県立中央病院中央検査部）</b>  <b>前田 泰弘（徳島県立中央病院）</b></p> <p>内容は決定次第、随時ホームページに掲載いたします。  応募方法は下記を参照願います</p>
15:20~15:30	休 憩
15:30~16:30	<p><b>第Ⅴ部 講演</b>  <b>「バスキュラーアクセス（VA）の超音波検査」</b>  <b>講師：渡邊 亮司（済生会今治病院）</b>  <b>司会：谷内 亮水（高知医療センター）</b></p> <p>VAは透析を行ううえで必要不可欠であり、その管理に超音波検査は重要な役割を果たしています。実際の症例を呈示しながら観察のポイント、必要な知識について講演していただきます。</p>

## ●一般演題応募方法

一般演題発表をご希望の会員の方はJSS四国地方会事務局 [jss-shikoku@mail.jss.org](mailto:jss-shikoku@mail.jss.org) までメールにてご連絡ください、抄録用フォーマットを送付いたします。（応募締め切り2012年2月3日）